

2017/11/27

## 第2回留学レポート

フロリダ大学(アメリカ)  
法文学部 鶴房 賢弥

フロリダ大学に交換留学に来て約三ヶ月が経過しました。これまでの生活を報告したいと思います。

### 1. 大学生活について

フロリダ大学に留学してから約3ヶ月が経ち、早くも残すところ半年を切ってしまいました。そこで、この3ヶ月で感じたアメリカの大学生と日本の大学生の学習面での違いを述べたいと思います。アメリカの学生は授業の成績を非常に意識しているということです。アメリカの大学では、ある一定のGPAを取ることができれば、スカーラーシップを取得することができます。実際に、私の友人の何人かはスカーラーシップももらい、授業料の負担を大きく抑えることができていると聞きました。また、スカーラーシップには定員がないため、多くの生徒が応募しています。このような経済的な援助が得る機会が存在するためからか、生徒の学習意欲は高まり、大学の図書館には平日だけでなく休日でも多くの生徒が学習しています。

### 2. 日常生活について

ついに8月という気温が比較的温暖な時期が過ぎ、フロリダでは寒冷な時期でもある12月に入ろうとしています。これまでの非常に気温が低い時には、3度や4度になったこともありました。そのために、冬物の衣類が必須となってきます。しかし、私は、留学にくる以前は、フロリダの寒期を非常に軽視していたため多くの冬物を持参していきませんでした。周りの学生はスウェットやダウンコートを着ている中、私はパーカーと半ズボンで学校に一いつたこともありました。さすがに、耐えられなかったため、オーランドにあるアウトレットモールに行き冬物の衣類を数着購入しました。ぜひ、少なくとも二、三着の冬物の持参をお勧めします。

### 3. その他

11月23日にアメリカではThanksgivingと言われる大きな休日があり、学校も3日間の休みでした。その期間で、私は友人とマイアミに行くことができました。マイアミでは、ビーチでくつろぎ、夜にはスペイン料理のレストランに行きました。また、友人のいとこがマイアミに在住していたため、夕食と一緒に呼んでもらう機会があ

りました。そこでは、本場のターキーやアメリカの Thanksgiving 料理を食べることができました。しかし、何と云っても興味深かったことは、スペイン語の使用です。街を歩いていても、英語よりスペイン語の方が話されていたと感じています。



マイアミの South Beach と云われるビーチです。11月でも泳ぐことができました。